

A区分・C区分共通

No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	演劇
----	----	----	----

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	無	応募総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	げきだんかぜのこちゅうぶ 劇団風の子中部		団体ウェブサイトURL https://www.kazenokotyubu.com
代表者職・氏名	代表取締役 西川典之		
制作団体所在地	〒 500-8241	最寄り駅(バス停)	名鉄名古屋本線茶所駅
	岐阜市領下21番地16		
電話番号	058-215-7780		
ふりがな 公演団体名	げきだんかぜのこちゅうぶ 劇団風の子中部		団体ウェブサイトURL https://www.kazenokotyubu.com
代表者職・氏名	代表取締役 西川典之		
公演団体所在地	〒 500-8241	最寄り駅(バス停)	名鉄名古屋本線茶所駅
	岐阜市領下21番地16		
制作団体 設立年月	2010年4月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	代表取締役 西川典之 事務局長 田島千穂 創造部長 榎田真理子		【創造部】榎田真理子、大熊勝利、榎田大介、井野口祥平、川尻晴菜、坂田如、橋本弥侑、高原真理子、内田菜月、西島航平、福田来樹 【制作部】西川典之、田島千穂、阪井大輝、松田琢也
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	西川典之
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	田島千穂

本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	kazenokotoukai@mtj.biglobe.ne.jp
-------------------------	----------------------------------

制作団体沿革・ 主な受賞歴	<p>1950年、劇団風の子が東京下北沢で創立。 1987年、劇団風の子の地方事務所として愛知県一宮市に東海事務所を開設。 1992年、事務所を岐阜市に移転し、2009年まで普及を中心とした活動を展開。 2010年4月、劇団風の子から運営独立し「劇団風の子中部」を岐阜市に設立。 2018年4月、株式会社劇団風の子中部として法人独立し、現在に至る。</p> <p>【主な受賞歴】 「ぱらりっつとせ」平成29年(2017年)厚生労働省社会保障審議会推薦・児童福祉文化財 「ギャング・エイジ」令和4年度(2022年)厚生労働省社会保障審議会推薦・児童福祉文化財 「ユエと瑠璃色の石」令和4年度(2022年)厚生労働省社会保障審議会推薦・児童福祉文化財 「ギャング・エイジ」令和5年度(2023年)児童福祉文化賞</p>		
学校等における 公演実績	<p>【2018年度公演実績】 「ギャング・エイジ」:79日 102ステージ 全作品公演 合計254日 294ステージ 【2019年度公演実績】 「ギャング・エイジ」:106日 128ステージ 全作品公演 合計275日 307ステージ 【2020年度公演実績】 「ギャング・エイジ」:45日 73ステージ 全作品公演 合計 181日 268ステージ 【2021年度公演実績】 「ギャング・エイジ」:84日 131ステージ 全作品公演 合計 262日 389ステージ 【2022年度公演実績】 「ギャング・エイジ」:90日 132ステージ 全作品公演 合計 321日 457ステージ 【2023年度公演実績】 「ギャング・エイジ」:97日 121ステージ 全作品公演 合計 309日 385ステージ 【2024年度実施校並びに2学期以降実施予定校】 「ギャング・エイジ」:90日 110ステージ 全作品公演 合計 309日 363ステージ</p>		
特別支援学校等における 公演実績	<p>【静岡県】静岡南部特別支援学校、静岡中央特別支援学校、袋井特別支援学校 【愛知県】岡崎市みあい特別支援学校 【岡山県】岡山県健康の森学園特別支援学校 【富山県】富山県立高志支援学校 【岐阜県】岐阜県立関特別支援学校</p> <p>ほか公演実績有</p>		
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/Q_fcM9xUNUE	
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
		PW:	

別添	なし
----	----

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 劇団風の子中部】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	劇団風の子中部「ギャング・エイジ」公演			
企画のねらい	<p>【コミュニケーション能力の育成】</p> <p>この劇の主人公を取り巻く子どもたちは、いじめっこ、お調子者、正義感の強い子と様々です。そんな子どもたちが、突然引き起こされた事件に巻き込まれ、反発、共感、妥協しながらも自己決定したことを表現し、さらに新しい関係へと発展させていく、そんな子どもたちのドラマが描かれています。人を避け自分の世界に閉じこもっている子が、友達の何気ない一言で心を開き、共に行動することで共感を生み出し、自身の中に潜んでいた発信する力を発見していきます。観客の子どもたちには5人の子ども群像との出会いを通してコミュニケーション能力の育成を図りたいと思います。</p> <p>【発想力の育成】</p> <p>想像力、発想力は、体験や模倣の中から鍛えられます。主人公エイジは、友達の心の中のざわめきを聞いて、だったら「こうしてみない?」と、たくさんの着想を共有しようします。豊かな発想力が人の心を大きく動かしていきます。子どもたちの織り成すドラマが見ている子どもたちを大きく刺激することは間違いありません。これらの事で、舞台芸術への興味と、将来の芸術家の育成や芸術鑑賞能力の向上につながっていくと考えます。</p>			
演目概要・演目選択理由	<p>【あらすじ】</p> <p>主人公エイジは、元気で人気者な小学四年生。お笑い好きのタカヒロや優等生のミサキ、虫が好きになちよと変わったココロ、ユニークな同級生たちと毎日を過ごしていた。そんなある日、偶然が重なり、突然エイジは「らんぼうもの」のレッテルを貼られてしまう。どうしていいかわからないエイジは学校を飛び出し、中学生のイサオと出会う。イサオは「ギャング」という言葉をエイジに教えてくれた。「弱い者いじめはダメだ。迷惑たれながす奴もだめだ。カッコいいギャングになるんだ」と語るイサオ。粋に当てはめられるなら、いっそ自分からその粋を飛び出してしまうたら…? エイジは決めた。目指すは「カッコいいギャング!」タカヒロがベンチの事態に、ココロの機転とエイジの行動力で乗り切り、それをきっかけに、ココロのつかい絵を描きたいという夢を知る二人。ココロの夢を叶えるために、カッコいいギャングになるために、三人の作戦会議が始まった。</p> <p>【演目選択理由】</p> <p>5人の演者が舞台空間を縦横無尽に駆け回るエネルギッシュな表現。ブルースハーブ(ハモニカ)の生演奏と音響効果による迫力あるサウンド。カラフルな粋を使った舞台表現。そして、原作の世界観を踏襲しながら、現代の「リアルな子どもたち」の心情が吐露されたような台詞の数々に共感する体験が、本事業の目的であるコミュニケーション能力、発想力の育成につながると考えます。</p>			
児童・生徒の参加又は体験の形態	【劇中のエンディングシーン】 児童5〜30名程度出演参加。主人公たち出演者とともに舞台上で、簡単な振り付けに合わせてテーマソングを 歌い踊り ます。			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	5〜30名程度(最大100名まで可能)	
		鑑賞人数目安	400名	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>「ギャング・エイジ」 原作：阿部夏丸 脚本：いずみ凜 演出：中島研 身体表現：若林こうじ・熊谷佳代 音楽・効果：曲尾友克 制作：西川典之</p> <p style="text-align: right;">公演時間 75 分</p>			
出演者	榎田大介 井野口祥平 坂田如 内田菜月 高原真理子(福田来樹)			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	脚本/いずみ凜：第39回斎田喬戯曲賞優秀賞受賞。第23回0夫人児童青少年演劇賞受賞。 演出/中島研：全国児童青少年演劇協議会 全児演賞受賞。			

本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む	出演者: 5 名 スタッフ: 1 名 合 計: 6 名	運搬	積載量: 1 t 車 長: 6.99 m 台 数: 1 台
---	-----------------------------------	-----------	-------------------------------------

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	7:00	7:00～10:30	13:30～14:45	無	15:00～16:30	16:50

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期について は、採択決定後に確認し ます。(大幅な変更は認め られません)	6月	7月	8月	9月
	10日	0日	0日	2日
	10月	11月	12月	1月
	17日	0日	15日	0日
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計



🍌 本番中の舞台
 (客席後方より)
 体育館ステージ側も客席と
 して使用し、段差をつけた
 観やすい客席を設営します。

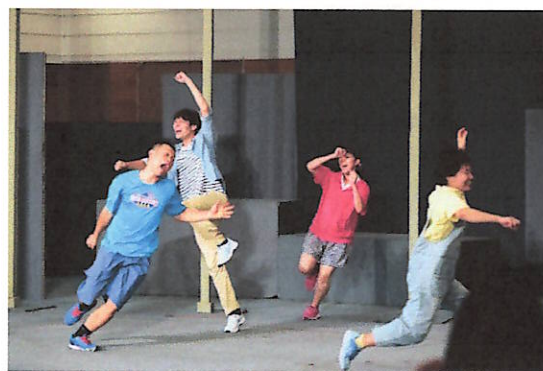


🍌 児童が入る前
 体操用マット、簡易ベンチ、
 パイプ椅子等で段差のある客席

 実際の児童着席時の様子 🍌



公演に係るビジュアル
 イメージ
 (舞台の規模や演出が
 わかる写真)



🍌 疾走感のあふれる舞台



🍌 演者によるブルースハープの生演奏

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。



👉 カラフルな枠が登場人物それぞれのキャラクターを生かし、枠に“はめられる”“飛び出す”といった表現効果になっている演出。





👉 照明効果を用いた影絵的な表現

著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用权等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 劇団風の子中部 】

ワークショップのねらい	<p>思春期にさしかかる、まさにギャングエイジ世代の子どもたちは、自我の目覚めとともに他者からの目を意識し始めます。そのことにより人前に立つ、喋る、表現する、演じることに相当なプレッシャーを感じる子どももいます。</p> <p>そこで演劇とは本来、PLAY＝演劇＝遊びであり、ごっこ遊びやものまねの延長であること、今回の舞台表現は「まずは、思い切り体を動かす気持ちよさを体感して欲しい」と伝えるためのワークショップにしたいと考えます。</p>		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	5～100名程度
ワークショップ実施形態及び内容	<p>【事前ワークショップ】</p> <p>①ガイダンス ワークショップの目的、注意事項等児童に説明。</p> <p>②心と身体の解放を目的とした“あそび”のワークショップ。 手遊び、なりきり（表現）遊び等</p> <p>③映像(ギャング・エイジPV、過去の本公演出演シーン)鑑賞、作品や出演にあたっての説明。 (休憩)</p> <p>④実際に出演するシーンの歌と踊りの練習。</p> <p>⑤出演グループごとに分かれ、歌の途中で叫ぶ「こどもの主張」（例「夏休みをもっと長くして欲しい!」「宿題を減らして欲しい!」「戦争はいやだ!」等）についてディスカッション。</p> <p>⑥その日決めた主張(本番までに変更してもOK)を取入れ、最後に歌と踊りに合わせ発表。</p> <p>【本番当日まで】 覚えた歌と振り付けの練習。「こどもの主張」について変更したい等あれば話し合っ決めておく。</p> <p>【当日リハーサル】 実際に出演する児童、先生と打合せ、本番の舞台上でリハーサルを行う。</p> <div data-bbox="427 1153 890 1460">  </div> <p>👉 本公演前のリハーサル風景</p> <div data-bbox="805 1400 1444 1720">  </div> <p>本公演の出演シーン 👉</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>当日の出演児童は舞台上で歌い踊る演出上、30名程度までが妥当なのですが、ワークショップに関しては多少多くても(その学年全員等)対応可能です。</p> <p>また、当日の出演も本舞台上に上がる児童と舞台脇で歌う児童とに分かれて参加する等その学校の規模に合わせた出演形態で対応します。</p> <p>例: 4年生3クラス90名がワークショップ参加。その中で各クラスから舞台上に上がる児童と舞台脇の特設スペースで歌だけ歌う児童に分かれて参加する。</p>		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名

劇団風の子中部

】

①本事業に対する取り組み姿勢

日本中の児童青少年が、地域格差や各家庭の経済格差等で差別されることなく、平等に文化芸術の機会を得ることの出来る芸術鑑賞教室というシステムは世界的に見て稀有な存在です。しかし、近年、少子化の加速、子どもの貧困(要保護・準要保護)家庭の増加による観劇料の徴収不可等で、学校単独での鑑賞機会が激減しています。そこに新型コロナウイルス感染症による行事見直し加わり、いまや芸術鑑賞行事そのものの開催が難しい状況にあると実感しています。

劇団も経費を抑えての公演形態を探りつつ、厳しい現状の中で子どもたちへの鑑賞機会を創り続けることの困難を感じています。

本事業は、このような状況を打ち破る大きな力になると確信します。**子どもにとって文化芸術、演劇は生きる力**です。当劇団も、子どもたちの発想力、想像力、コミュニケーション能力の育成を図り、将来の芸術家の育成や芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的として、本事業に取り組みたいと考えます。**本事業の推進力は子どもたちを取り巻く状況を変革していく力になるものと確信**しています。

◇文化芸術を鑑賞することは娯楽的な要素を持つものではなく、**子どもの成長発達に欠かせない体験**であることを広く普及し、芸術鑑賞能力の向上を図りたいと考えます。

◇インターネット等が子どもの成長発達に及ぼす影響を考えた時、目の前で繰り広げられる生の舞台芸術に触れる機会を持つことの重要な意味を、地域の方たちと共に考え、芸術鑑賞の意味を深めていきたいと思います。

◇本物の舞台芸術に触れることによって、**子どもの自己表現能力を養成**し、次なる芸術家や多くの鑑賞者を育てる礎になるような機会として創っていきたいです。

以上の目的をもって、その実現のために本事業に申請します。

②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

□採択された学校には迅速に対応し、次年度の学校行事のスケジュール調整に間に合わせて、ワークショップ、本公演の日程を調整し、スムーズな学校運営ができるよう配慮します。

□令和7年度4月には新担当教諭に迅速に連絡をして、これまでの経緯とこれからの進め方の再確認をしっかりと行います。

□打合せのため学校に直接伺い確認事項を再度確認し、事前のワークショップを行い、本公演をスムーズに進行できるよう、打ち合わせをしっかりとやりたいと考えています。

□子どもたちが、緊張感で表現できなくなるような事にならないよう、具体的に子どもたちの**心と体を解放できるようなワークショップ**を考えています。これまでの実績として、2000年より、多くの学校で学芸会の指導をしてきたスキルを生かして臨みたいと思います。子どもたちが、ドキドキワクワクするような取り組みを生み出します。

□子どもたちへの言葉がけは否定的な表現は使わない。肯定的な言葉がけに徹して、ワークショップ・本公演の環境を子どもたちが**安心して自己表現**できるように配慮します。

□公演当日は、ワークショップ、本公演以外の場面でも、子どもたちとのコミュニケーションが図れるよう、体育館は開放的な空間にし(もちろん安全に考慮し)、本番への昂揚感を高めます。

□リハーサルは短い時間の中で、集中力と適度な緊張感を促し、かつ表現すること、**舞台上に立つことの楽しさを追求**しながら、本番に向かっていきます。

本事業に対する
取り組み姿勢、および
効果的かつ円滑に実施
するための工夫